



2025年3月期 第1四半期決算短信〔米国基準〕（連結）

2024年8月7日

上場会社名 富士フィルムホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 4901 URL <https://holdings.fujifilm.com/ja>

代表者 （役職名） 代表取締役社長・CEO （氏名） 後藤 禎一

問合せ先責任者（役職名） コーポレートコミュニケーション部長 （氏名） 吉澤 ちさと TEL 03-6271-1111

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満四捨五入）

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	749,015	13.4	62,193	19.1	71,748	3.5	60,730	11.6
2024年3月期第1四半期	660,759	5.6	52,217	5.4	69,297	25.5	54,412	31.5

（注）四半期包括利益 2025年3月期第1四半期 202,845百万円（4.2％） 2024年3月期第1四半期 194,721百万円（25.4％）

	基本的1株当たり当社株主に 帰属する四半期純利益	希薄化後1株当たり当社株主に 帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	50.44	50.38
2024年3月期第1四半期	45.22	45.16

（注）2024年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「基本的1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益」及び「希薄化後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益」を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	資本合計（純資産）	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	5,077,574	3,375,829	3,371,599	66.4
2024年3月期	4,783,460	3,173,315	3,169,247	66.3

（注）資本合計（純資産）は、P.8の連結貸借対照表の純資産合計を読み替えております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	70.00	—	80.00	150.00
2025年3月期	—				
2025年3月期（予想）		30.00	—	30.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

（注）2024年3月期 期末配当金の内訳 : 普通配当 70円00銭 創立90周年記念配当 10円00銭

（注）2024年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2025年 3月期の連結業績予想（2024年 4月 1日～2025年 3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当社株主に帰属する 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,150,000	6.4	315,000	13.8	330,000	4.0	250,000	2.7	207.63

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注)「1株当たり当社株主に帰属する当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2024年6月30日現在の発行済株式数（自己株式数を除く）を使用しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	1,243,877,184株	2024年3月期	1,243,877,184株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	39,800,938株	2024年3月期	39,809,292株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	1,202,937,753株	2024年3月期1Q	1,202,516,415株

(注)2024年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」、及び「期中平均株式数」を算定しております

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

[目次]

1.	当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1)	経営成績に関する説明	P. 2
(2)	財政状態に関する説明	P. 4
(3)	連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 5
2.	サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 6
(1)	当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更	P. 6
(2)	簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 6
(3)	会計方針の変更	P. 6
3.	継続企業の前提に関する重要事象等	P. 6
4.	四半期連結財務諸表	P. 7
(1)	四半期連結貸借対照表	P. 7
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 9
	（四半期連結損益計算書）	P. 9
	（四半期連結包括利益計算書）	P. 10
(3)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(4)	四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 12
	（継続企業の前提に関する注記）	P. 12
	（セグメント情報）	P. 12
	（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	P. 13
	（重要な後発事象）	P. 14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：億円)

	2025年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	増減額	増減率
国内売上高	31.9% 2,391	36.2% 2,391	0	0.0%
海外売上高	68.1% 5,099	63.8% 4,217	882	20.9%
売上高	100.0% 7,490	100.0% 6,608	882	13.4%
営業利益	8.3% 622	7.9% 522	100	19.1%
税金等調整前四半期純利益	9.6% 717	10.5% 693	24	3.5%
当社株主帰属四半期純利益	8.1% 607	8.2% 544	63	11.6%
為替レート (円/米\$)	156円	138円	18円	
為替レート (円/Euro)	168円	150円	18円	

当社グループの2025年3月期第1四半期における連結売上高は、メディカルシステム、半導体材料、イメージング等を中心に売上を伸ばし、7,490億円（前年同期比13.4%増）となりました。

営業利益は622億円（前年同期比19.1%増）となりました。税金等調整前四半期純利益は717億円（前年同期比3.5%増）、当社株主帰属四半期純利益は607億円（前年同期比11.6%増）となりました。当四半期の円為替レートは、対米ドルで156円、対ユーロで168円となりました。

【事業セグメント別の売上高】

(単位：億円)

セグメント	2025年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	増減額	増減率
ヘルスケア	2,292	2,068	224	10.8%
エレクトロニクス	1,091	791	300	37.9%
ビジネスイノベーション	2,800	2,697	103	3.9%
イメージング	1,307	1,052	255	24.2%
連結合計	7,490	6,608	882	13.4%

【事業セグメント別の営業利益】

(単位：億円)

セグメント	2025年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	増減額	増減率
ヘルスケア	34	103	△69	△67.1%
エレクトロニクス	201	98	103	105.8%
ビジネスイノベーション	144	166	△22	△12.9%
イメージング	325	234	91	38.9%
全社費用等	△82	△79	△3	—
連結合計	622	522	100	19.1%

※当第1四半期連結会計期間より、グラフィックコミュニケーション事業をエレクトロニクス(旧マテリアルズ)セグメントからビジネスイノベーションセグメントへ変更しております。また、それに伴いセグメント単位での一体運営が進んだ状態を鑑み、各セグメントの売上高及び営業利益をセグメント間取引消去後の金額に変更しております。前年同期についても、上記の変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

「ヘルスケア部門」

ヘルスケア部門の連結売上高は、2,292億円（前年同期比10.8%増）となりました。

当部門の営業利益は、34億円（前年同期比67.1%減）となりました。

メディカルシステム事業では、内視鏡やCT・MRI等の分野で販売が好調に推移したことにより、売上が増加しました。X線画像診断分野では、米国におけるデジタルマンモグラフィ撮影装置「Amulet Innovality」の販売伸長に加え、日本・欧州を中心とした、契約率向上による保守サービス事業の拡大等により、売上が増加しました。医療IT分野では、医用画像情報システム（PACS）「SYNAPSE」や3D画像解析システム「SYNAPSE VINCENT」を中心としたシステム・サービス販売が米国・欧州・インド等で堅調に推移したものの、電子カルテ・レセプト関連事業を2023年10月に譲渡した影響で、売上が減少しました。超音波診断分野では、米国を中心に販売伸長し、売上が増加しました。内視鏡分野では、米国・欧州をはじめとする主要市場で販売が伸長し、売上が増加しました。また、2024年5月には、日本において、LED光源搭載内視鏡システム「ELUXEO（エルクセオ）」シリーズの新ラインアップとして、画像処理エンジンを一新し高画質を追求したフラッグシップモデル「ELUXEO 8000システム」の発売を開始しました。体外診断（IVD）分野では、血液生化学検査「富士ドライケム」機器・スライドの販売が好調に推移したことにより、売上が増加しました。CT・MRI画像診断分野では、米国・欧州・中南米を中心に販売が伸長したこと等により売上が増加しました。

バイオCDMO事業では、抗体医薬品の製造受託が堅調に推移し、売上が増加しました。抗体医薬品の旺盛な製造委託ニーズを受け、2024年4月には、FUJIFILM Diosynth Biotechnologiesの北米拠点に約12億ドルの大規模投資を行い、新たに20,000リットルの動物細胞培養タンク8基を導入することを発表しました。当社は、高い成長を続けるバイオ医薬品市場に対して、生産プロセスの開発受託に加え、小規模生産から大規模生産、原薬から製剤・包装の受託等、一貫してお客様のニーズに応え、事業の成長を一段と加速していきます。

ライフサイエンス事業では、創薬支援向け細胞・試薬の販売、iPS細胞治療薬の開発受託が安定して推移し、前年並みの売上となりました。

医薬品事業では、抗菌剤の堅調な需要が継続するも、前年同期に特許ライセンス収入を計上した反動で、売上が減少しました。

コンシューマーヘルスケア事業では、化粧品の新製品の販売が伸長しましたが、既存化粧品、及び市場全体が停滞したサプリメントの販売減少等により、事業全体では売上が減少しました。

CRO事業では、当社独自のiPS細胞技術やAI技術を活用し、新たな医薬品のシーズ探索や有効性・安全性評価等のサービス提供を進めております。

「エレクトロニクス部門」

エレクトロニクス部門の連結売上高は1,091億円（前年同期比37.9%増）となりました。

当部門の営業利益は、201億円（前年同期比105.8%増）となりました。

半導体材料事業では、先端向けが牽引する半導体市場の市況回復に加え、2023年10月に米国Entegris社からの買収を完了した半導体用プロセスケミカル事業が寄与したことで、売上が増加しました。2024年6月には、イメージセンサー用カラーフィルタ材料の生産能力拡大と現地生産化に向けて韓国平澤市に新工場を竣工しました。今後も積極的な設備投資を継続し、高品質材料の安定生産や強固なグローバル製造体制を構築していきます。

2024年6月には、ディスプレイ材料事業、産業機材事業、ファインケミカル事業を統合し、アドバンストファンクショナルマテリアルズ事業部を設立しました。人材、ビジネス資産を一元化し、近接領域での相乗効果を創出、また、事業・市場軸で各グループが持つコア技術・ビジネス構築力の知識・知見の共有により市場開拓力を強化・向上させていきます。当期は、OLED向け反射防止材料の受注好調、データアーカイブ用テープや重合材料の販売伸長等により、売上が増加しました。

「ビジネスイノベーション部門」

ビジネスイノベーション部門の連結売上高は、2,800億円（前年同期比3.9%増）となりました。

当部門の営業利益は、144億円（前年同期比12.9%減）となりました。

ビジネスソリューション事業では、DX関連ソリューションの販売が増加したこと等により、売上が増加しました。

オフィスソリューション事業では、欧米向け輸出が増加したこと等により、売上が増加しました。2024年6月には、FUJIFILM Manufacturing Europe B.V.の敷地内に、欧州地域での資源循環を促進する生産拠点「Circular Manufacturing Center」を開設し、域内で販売する複合機の使用済みトナーカートリ

ッジを回収、新品のトナーカートリッジに再生する取り組みを開始しました。当社は、今後も資源循環活動をより一層強化し、サーキュラーエコノミーへの移行促進に貢献していきます。

グラフィックコミュニケーション事業では、刷版材料分野における、北米・中国を中心とした販売伸長、デジタル印刷分野における、プロダクションプリンターの欧米向け販売伸長、インクジェット分野における、インクジェットヘッドの販売伸長等により、売上が増加しました。

「イメージング部門」

イメージング部門の連結売上高は、1,307億円（前年同期比24.2%増）となりました。

当部門の営業利益は、325億円（前年同期比38.9%増）となりました。

コンシューマーイメージング事業では、インスタントフォトシステムinstaxの販売が好調に推移し、売上が増加しました。2024年6月には、ワイドフォーマットのアナログインスタントカメラ「instax WIDE 400」の発売、及び音声メッセージを録音できる機能を有するハイブリッドインスタントカメラ「instax mini LiPlay」のリニューアルを発表しました。

プロフェッショナルイメージング事業では、デジタルカメラの販売が好調に推移し、売上が増加しました。2024年6月には、「GFXシリーズ」の最新モデル「FUJIFILM GFX100S II」、及び「Xシリーズ」の最新モデル「FUJIFILM X-T50」と、レンズ2本を発売しました。今後も、「GFXシリーズ」ではラージフォーマットによる圧倒的高画質を、「Xシリーズ」では画質とサイズのベストバランスを実現し、魅力的な製品を提供していきます。

(2) 財政状態に関する説明

2025年3月期第1四半期末は、棚卸資産、有形固定資産の増加等により、前期末（2024年3月31日）に比べ、資産が2,941億円増の5兆776億円となりました。負債は916億円増の1兆7,018億円となりました。株主資本は2,024億円増の3兆3,716億円となりました。流動比率は前期末に比べ6.0ポイント減の129.1%、負債比率は0.3ポイント減の50.5%、株主資本比率は0.1ポイント増の66.4%となり、資産の流動性及び資本構成の安定性をともに維持しております。

【キャッシュ・フローの状況】

（単位：億円）

	2025年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,010	747	263
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,453	△985	△468
財務活動によるキャッシュ・フロー	418	△133	551

2025年3月期第1四半期における営業活動によるキャッシュ・フローは、受取債権の減少等により、1,010億円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の購入等により、1,453億円の支出となりました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは、△443億円となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の増加等により、418億円の収入となりました。

現金及び現金同等物の2025年3月期第1四半期末残高は、前期末（2024年3月31日）に比べ156億円増加し、1,953億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明
(2025年3月期の連結業績予想)

(単位：億円)

	前回発表予想(A) (2024年5月9日発表)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(参考)前期実績 (2024年3月期)
売上高	31,000	31,500	500	1.6%	29,609
営業利益	3,000	3,150	150	5.0%	2,767
税金等調整前 当期純利益	3,100	3,300	200	6.5%	3,173
当社株主帰属 当期純利益	2,400	2,500	100	4.2%	2,435
一株当たり 当社株主帰属 当期純利益	199.32円	207.63円	8.31円	4.2%	202.29円
ROE (%)	7.8	7.8	—	—	8.2
ROIC (%)	5.4	5.4	—	—	5.6
為替レート (円／米\$)	140円	148円	8円	—	145円
為替レート (円／Euro)	150円	162円	12円	—	157円

2025年3月期業績は、エレクトロニクス、イメージングの好調な業績、及び為替影響をうけて、連結業績予想を上方修正します。連結売上高は3兆1,500億円(前期比6.4%増)、営業利益は3,150億円(前期比13.8%増)、税金等調整前当期純利益は3,300億円(前期比4.0%増)、当社株主帰属当期純利益は2,500億円(前期比2.7%増)を予想しております。

通期での対米ドル円為替レートを148円、対ユーロ円為替レートを162円で想定しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

単位 百万円

科目	期別 2025年3月期第1四半期 連結会計期間末 2024年6月30日現在	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 2024年3月31日現在	増減 (△は減少)
[資産の部]			
流動資産			
現金及び現金同等物	195,267	179,715	15,552
受取債権			
営業債権	667,185	674,112	△6,927
リース債権	40,712	39,248	1,464
関連会社等に対する債権	1,836	2,397	△561
信用損失引当金	△20,497	△19,172	△1,325
	689,236	696,585	△7,349
棚卸資産	600,648	547,803	52,845
前払費用及びその他の流動資産	167,831	150,525	17,306
流動資産 合計	1,652,982	1,574,628	78,354
投資及び長期債権			
関連会社等に対する投資及び貸付金	42,377	40,771	1,606
投資有価証券	80,511	83,458	△2,947
長期リース債権	56,274	55,296	978
その他の長期債権	31,120	30,537	583
信用損失引当金	△2,207	△2,185	△22
投資及び長期債権 合計	208,075	207,877	198
有形固定資産			
土地	114,944	113,350	1,594
建物及び構築物	840,237	818,610	21,627
機械装置及びその他の有形固定資産	1,654,768	1,611,452	43,316
建設仮勘定	822,823	685,176	137,647
	3,432,772	3,228,588	204,184
減価償却累計額	△1,879,814	△1,832,853	△46,961
有形固定資産 合計	1,552,958	1,395,735	157,223
その他の資産			
オペレーティング・リース使用权資産	102,196	100,094	2,102
営業権	986,319	953,835	32,484
その他の無形固定資産	180,512	178,335	2,177
その他	394,532	372,956	21,576
その他の資産 合計	1,663,559	1,605,220	58,339
資産 合計	5,077,574	4,783,460	294,114

単位 百万円

期別 科目	2025年3月期第1四半期 連結会計期間末 2024年6月30日現在	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 2024年3月31日現在	増減 (△は減少)
[負債の部]			
流動負債			
社債及び短期借入金	434,425	317,103	117,322
支払債務			
営業債務	286,449	262,752	23,697
設備関係債務	81,849	82,421	△572
関連会社等に対する債務	1,525	1,305	220
未払法人税等	369,823	346,478	23,345
未払費用	25,748	47,947	△22,199
短期オペレーティング・リース負債	270,265	251,205	19,060
短期オペレーティング・リース負債	31,923	32,589	△666
その他の流動負債	148,622	170,519	△21,897
流動負債 合計	1,280,806	1,165,841	114,965
固定負債			
社債及び長期借入金	146,199	185,716	△39,517
退職給付引当金	21,903	21,055	848
長期オペレーティング・リース負債	75,059	72,223	2,836
その他の固定負債	177,778	165,310	12,468
固定負債 合計	420,939	444,304	△23,365
負債 合計	1,701,745	1,610,145	91,600
[純資産の部]			
株主資本			
資本金	40,363	40,363	—
普通株式			
発行可能株式総数 2,400,000,000株			
発行済株式総数 1,243,877,184株			
利益剰余金	2,802,040	2,741,416	60,624
その他の包括利益累積額	585,340	443,619	141,721
自己株式	△56,144	△56,151	7
株主資本 合計	3,371,599	3,169,247	202,352
非支配持分	4,230	4,068	162
純資産 合計	3,375,829	3,173,315	202,514
負債・純資産 合計	5,077,574	4,783,460	294,114

(注)その他の包括利益累積額 内訳

	2024年6月30日現在	2024年3月31日現在	増減 (△は減少)
為替換算調整額	607,203	465,118	142,085
年金負債調整額	△21,866	△21,497	△369
デリバティブ未実現損益	3	△2	5

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

【第1四半期連結累計期間】

単位 百万円

科目	期別	2025年3月期第1四半期 自 2024年 4月 1日 至 2024年 6月30日		2024年3月期第1四半期 自 2023年 4月 1日 至 2023年 6月30日		増減 (△は減少)	
						増減額	増減率
売上高		%		%			%
		100.0	749,015	100.0	660,759	88,256	13.4
売上原価		58.8	440,473	60.2	397,585	42,888	10.8
売上総利益		41.2	308,542	39.8	263,174	45,368	17.2
営業費用							
販売費及び一般管理費		27.5	206,060	26.1	172,319	33,741	19.6
研究開発費		5.4	40,289	5.8	38,638	1,651	4.3
		32.9	246,349	31.9	210,957	35,392	16.8
営業利益		8.3	62,193	7.9	52,217	9,976	19.1
営業外収益及び費用(△)							
受取利息及び配当金			4,202		3,691	511	
支払利息			△2,052		△2,157	105	
為替差損益・純額			4,615		2,229	2,386	
持分証券に関する損益・純額			△582		11,212	△11,794	
その他損益・純額			3,372		2,105	1,267	
		1.3	9,555	2.6	17,080	△7,525	△44.1
税金等調整前四半期純利益		9.6	71,748	10.5	69,297	2,451	3.5
法人税等		1.7	12,499	2.5	16,639	△4,140	△24.9
持分法による投資損益		0.2	1,630	0.1	717	913	127.3
四半期純利益		8.1	60,879	8.1	53,375	7,504	14.1
控除:非支配持分帰属損益		—	△149	0.1	1,037	△1,186	—
当社株主帰属四半期純利益		8.1	60,730	8.2	54,412	6,318	11.6

(四半期連結包括利益計算書)

単位 百万円

科目	期別	2025年3月期第1四半期 自 2024年 4月 1日 至 2024年 6月30日	2024年3月期第1四半期 自 2023年 4月 1日 至 2023年 6月30日	増減 (△は減少)
四半期純利益		60,879	53,375	7,504
その他の包括利益(△損失) ー税効果調整後 為替換算調整額		142,330	141,145	1,185
年金負債調整額		△369	22	△391
デリバティブ未実現損益		5	179	△174
合計		141,966	141,346	620
四半期包括利益		202,845	194,721	8,124
控除:非支配持分帰属四半期包括損益		△394	5,033	△5,427
当社株主帰属四半期包括利益		202,451	199,754	2,697

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位 百万円

科目	期別 2025年3月期第1四半期 自 2024年 4月 1日 至 2024年 6月30日	2024年3月期第1四半期 自 2023年 4月 1日 至 2023年 6月30日	増減 (△は減少)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 四半期純利益	60,879	53,375	7,504
2. 営業活動により増加した純キャッシュへの調整			
(1) 減価償却費	39,664	35,954	3,710
(2) 持分証券に関する損益	582	△11,212	11,794
(3) 持分法による投資損益(受取配当金控除後)	△1,358	△399	△959
(4) 資産及び負債の増減			
受取債権の減少	28,297	43,304	△15,007
棚卸資産の増加(△)	△34,477	△39,293	4,816
営業債務の増加・減少(△)	17,269	△860	18,129
前払費用及びその他の流動資産の増加(△)	△9,876	△12,837	2,961
未払法人税等及びその他負債の増加	1,699	7,155	△5,456
(5) その他	△1,667	△516	△1,151
小計	40,133	21,296	18,837
営業活動によるキャッシュ・フロー	101,012	74,671	26,341
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 有形固定資産の購入	△123,498	△93,387	△30,111
2. ソフトウェアの購入	△19,595	△7,955	△11,640
3. 投資有価証券の売却及び満期償還	2,686	3,590	△904
4. 投資有価証券の購入	—	△7	7
5. 定期預金の増加(純額)	△932	△1,904	972
6. その他	△4,010	1,118	△5,128
投資活動によるキャッシュ・フロー	△145,349	△98,545	△46,804
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 長期債務の返済額	△563	△4,990	4,427
2. 満期日が3ヵ月以内の短期債務の増加(純額)	77,265	90,211	△12,946
3. 親会社による配当金支払額	△32,108	△28,077	△4,031
4. 非支配持分への配当金支払額	△10	△12,334	12,324
5. 自己株式の取得及び売却	△7	△7	0
6. 非支配持分との資本取引	△671	△57,886	57,215
7. その他	△2,071	△258	△1,813
財務活動によるキャッシュ・フロー	41,835	△13,341	55,176
IV. 為替変動による現金及び現金同等物への影響	18,054	18,635	△581
V. 現金及び現金同等物純増加・純減少(△)	15,552	△18,580	34,132
VI. 現金及び現金同等物期首残高	179,715	268,608	△88,893
VII. 現金及び現金同等物期末残高	195,267	250,028	△54,761

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

①事業別セグメント情報

【売上高】

単位 百万円

科目	期別	2025年3月期第1四半期 自 2024年 4月 1日 至 2024年 6月30日		2024年3月期第1四半期 自 2023年 4月 1日 至 2023年 6月30日		増減 (△は減少)	
						増減額	増減率
売上高：		%		%			%
ヘルスケア		30.6	229,190	31.3	206,829	22,361	10.8
エレクトロニクス		14.6	109,126	12.0	79,110	30,016	37.9
ビジネスイノベーション		37.4	280,016	40.8	269,590	10,426	3.9
イメージング		17.4	130,683	15.9	105,230	25,453	24.2
連結 合計		100.0	749,015	100.0	660,759	88,256	13.4

【営業利益】

単位 百万円

科目	期別	2025年3月期第1四半期 自 2024年 4月 1日 至 2024年 6月30日		2024年3月期第1四半期 自 2023年 4月 1日 至 2023年 6月30日		増減 (△は減少)	
						増減額	増減率
営業利益：		%		%			%
ヘルスケア		1.5	3,396	5.0	10,335	△6,939	△67.1
エレクトロニクス		18.4	20,080	12.3	9,757	10,323	105.8
ビジネスイノベーション		5.2	14,428	6.1	16,560	△2,132	△12.9
イメージング		24.9	32,521	22.2	23,410	9,111	38.9
計			70,425		60,062	10,363	17.3
全社費用等			△8,232		△7,845	△387	—
連結 合計		8.3	62,193	7.9	52,217	9,976	19.1

※当第1四半期連結会計期間より、グラフィックコミュニケーション事業をエレクトロニクス(旧マテリアルズ)セグメントからビジネスイノベーションセグメントへ変更しております。また、それに伴いセグメント単位での一体運営が進んだ状態を鑑み、各セグメントの売上高及び営業利益をセグメント間取引消去後の金額に変更しております。前年同期についても、上記の変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(注)各区分に属する主要な製品の名称

ヘルスケア：	メディカルシステム機材、バイオ医薬品製造開発受託、細胞・培地・試薬等の創薬支援材料、医薬品、化粧品・サプリメント等
エレクトロニクス：	半導体材料、ディスプレイ材料、産業機材、ファインケミカル等
ビジネスイノベーション：	ソリューション・サービス、デジタル複合機、グラフィックコミュニケーションシステム機材、インクジェット機材等
イメージング：	インスタントフォトシステム、カラーフィルム、写真プリント用カラーペーパー・サービス・機器、デジタルカメラ、光学デバイス等

②所在地別セグメント情報
【海外売上高(仕向地ベース)】

単位 百万円

科目	期別		2025年3月期第1四半期 自 2024年 4月 1日 至 2024年 6月30日		2024年3月期第1四半期 自 2023年 4月 1日 至 2023年 6月30日		増減 (△は減少)	
							増減額	増減率
売上高 :	%				%			%
国内	31.9		239,119		36.2		79	0.0
海外 :								
米州	20.8		155,518		22.2		9,000	6.1
欧州	17.9		133,729		13.6		43,803	48.7
アジア及びその他	29.4		220,649		28.0		35,374	19.1
計	68.1		509,896		63.8		88,177	20.9
連結 合計	100.0		749,015		100.0		88,256	13.4

(注) 【海外売上高(仕向地ベース)】は、取引先の所在地により区分し、表示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(社債の発行)

当社は、投融資資金、社債償還、CP償還資金及び借入金返済等に充当する資金として、2024年7月に無担保社債（社債間限定同順位特約付）（ソーシャルボンド）を発行しました。概要は次のとおりです。

第20回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（ソーシャルボンド）

- 1 発行総額：700億円
- 2 発行価格：各社債の金額100円につき金100円
- 3 払込期日：2024年7月19日
- 4 利率：年0.633%
- 5 償還方法及び償還期限：2027年7月16日に一括償還

第21回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（ソーシャルボンド）

- 1 発行総額：800億円
- 2 発行価格：各社債の金額100円につき金100円
- 3 払込期日：2024年7月19日
- 4 利率：年0.838%
- 5 償還方法及び償還期限：2029年7月19日に一括償還

第22回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（ソーシャルボンド）

- 1 発行総額：200億円
- 2 発行価格：各社債の金額100円につき金100円
- 3 払込期日：2024年7月19日
- 4 利率：年1.039%
- 5 償還方法及び償還期限：2031年7月18日に一括償還

第23回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（ソーシャルボンド）

- 1 発行総額：300億円
- 2 発行価格：各社債の金額100円につき金100円
- 3 払込期日：2024年7月19日
- 4 利率：年1.386%
- 5 償還方法及び償還期限：2034年7月19日に一括償還